

薬剤耐性(AMR) シンポジウム

～ AMEDにおける基礎から創薬までの研究開発最前線～

近年、薬剤耐性が世界的に拡大、公衆衛生に重大な影響を与えている一方で、新規の抗菌薬等の開発は停滞、このままではAMRに対する対抗手段が枯渇するとの懸念が高まっています。

そうした中、薬剤耐性菌に対する薬剤研究開発をより強力に推進するために、AMEDが支援するAMR関連課題に関する最新の研究成果発表を中心に、アカデミアや企業の研究者間の情報共有さらには産学連携の機会促進のためにシンポジウムを開催します。

アカデミア、産業界から多くの方々にご参加いただき、AMR研究の発展、ひいてはわが国の抗菌薬開発に資する事を目指します。

日時

平成29年**9月28日**(木)
13:00～18:00(12:30受付開始)

会場

日本橋ライフサイエンスハブ 会議室
東京都中央区日本橋室町1-5-5室町ちばざん三井ビル8F
▶アクセス 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅より直結
JR総武線「新日本橋」駅より直結

定員

170名
※参加対象者:研究者、製薬関係者、行政関係者、医療関係者

参加費

無料

参加申し込み方法

下記のHPまたはFAX用参加申込書(裏面)でお申し込みください。
<https://omc.tokyo/amr/index.html>

お問い合わせ

薬剤耐性(AMR)シンポジウム運営事務局(受付時間9:30～18:00)
TEL: 03-5362-0117 FAX:03-5362-0121 E-mail: amr2017@omc.co.jp



主催: 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル
HP:<http://www.amed.go.jp/>



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

プログラム

13:00 - 13:10 開会挨拶

末松 誠 日本医療研究開発機構(AMED) 理事長

第一部: AMR対策にむけた研究開発を取り巻く環境: 産学官からのメッセージ 座長: 平井 敬二 杏林製薬株式会社 相談役

13:10 - 13:25 AMR対策の推進に向けて

福田 祐典 厚生労働省 健康局長

13:25 - 13:40 AMR研究、世界の現状

舘田 一博 日本感染症学会 理事長

13:40 - 13:55 AMR研究開発促進に関する提言

山口 栄一 日本製薬工業協会国際委員会 幹事

13:55 - 14:10 海外におけるAMR創薬を取り巻く環境

諸岡 健雄 MSD株式会社 執行役員

14:10 - 14:20 創薬促進にむけたPMDAの取り組み

佐藤 淳子 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 国際協力室長

14:20 - 14:35 休憩

第二部: AMED支援課題紹介 座長: 宮村 達男 日本医療研究開発機構(AMED) プログラムディレクター

14:35 - 14:45 AMED事業概要説明

宮村 達男 日本医療研究開発機構(AMED) プログラムディレクター

基礎研究

14:45 - 15:00 薬剤耐性菌の疫学情報収集体制

柴山 恵吾 国立感染症研究所細菌第二部 部長

15:00 - 15:15 薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法の開発研究

柳原 克紀 長崎大学医歯薬総合研究科医療科学専攻 教授

創薬研究

15:15 - 15:30 天然物創薬の可能性(微化研におけるAMR克服に向けた取り組み)

五十嵐雅之 微生物化学研究所 第2生物活性研究部 部長

15:30 - 15:45 薬用植物ライブラリーを用いた多剤耐性菌に対する新規抗菌薬の探索

切替 照雄 順天堂大学医学部微生物学講座 教授

15:45 - 16:00 北里微生物資源ライブラリーを基盤とした多剤耐性菌を克服する天然物創薬

砂塚 敏明 北里大学 北里生命科学研究所 創薬科学部門 教授

16:00 - 16:15 新型多剤耐性菌克服のための新規阻害物質などの探索

荒川 宜親 名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻 教授

16:15 - 16:30 グラム陰性菌の多剤排出システムと阻害機構

西野 邦彦 大阪大学産業科学研究所 生体分子制御学研究分野 教授

16:30 - 16:45 新規抗生物質ライソシンの開発

関水 和久 帝京大学医真菌研究センター 教授

16:45 - 16:55 まとめ

宮村 達男 日本医療研究開発機構(AMED) プログラムディレクター

16:55 - 17:15 休憩・ポスターセッション

第三部: 新たな動きについて 座長: 倉根 一郎 国立感染症研究所 所長

17:15 - 17:25 細菌の酸化ストレス耐性を標的とした新規治療戦略の開発

澤 智裕 熊本大学 大学院生命科学研究部 教授

17:25 - 17:35 薬剤耐性(AMR)菌感染症治療薬を目的とした創薬研究

日高 淳 大日本住友製薬株式会社 創薬開発研究所 スペシャルティ医薬グループ グループマネージャー

17:35 - 17:45 新規治療薬開発のためのモデル構築

石井 良和 東邦大学微生物・感染症学講座 教授

17:45 - 17:55 多剤耐性菌に対する臨床試験の課題

高橋義三郎 Meiji Seikaファルマ臨床開発推進部 部長

17:55 - 18:00 閉会挨拶

岩本 愛吉 日本医療研究開発機構(AMED) 戦略推進部 部長

18:05 - 研究交流会

薬剤耐性(AMR)シンポジウム FAX用参加申込書

FAX: 03-5362-0121

下記の表に必要な事項を記入してお送り下さい。

ふりがな				所 属		
氏 名				[会社名/機関名 (部署名)]	()	
住 所	〒 都 道 府 県			属 性	研究者(大学等)・研究者(企業等) 製薬関係者・行政関係者・医療従事者 その他()	
				[該当するものに○]		
T E L		F A X		E-mail		
車椅子使用	なし ・ あり (台数 台/介助者の人数 名)					
ご記入頂いた個人情報は、本シンポジウムの運営のみに使用します。						☐ 確認
今後、AMEDのイベントの案内をお送りしてもよろしいですか？						はい ・ いいえ